

LEVEL
3

かえる

蛙



げんさく あくたがわ りゅうのすけ
原作：芥川 龍之介



朗読音声のダウンロード
Audio download

よ　まえ ★読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.

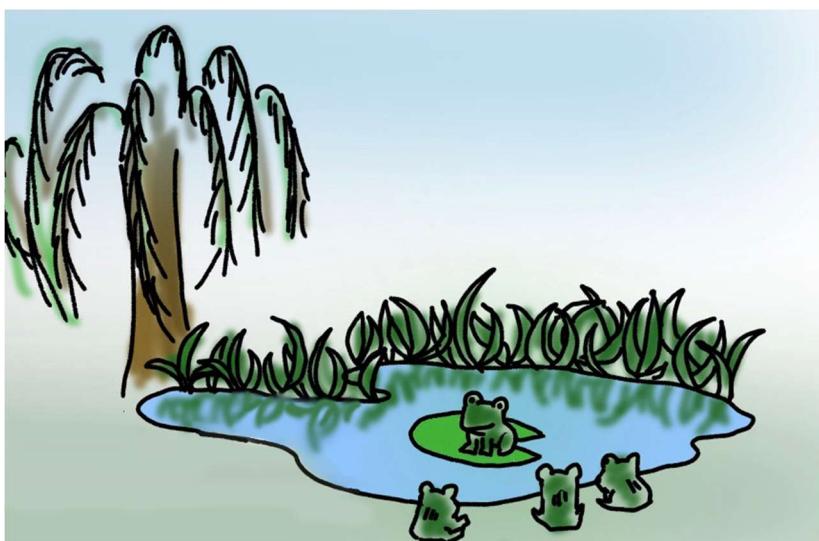


かえる
蛙 がいる。

かえる な
蛙 が鳴いている。

「ころろ からら」

「ころろ からら」



「ころろ からら」

わたし 私には、ころろかららと聞こえる。

じつ かえる い けん い
でも実は、蛙たちは、意見を言って
いる。

き
「みんな、聞いてください」と、一匹
かえる い
の蛙が言いました。





「水はなんのためにあるのでしょうか。
水は、私たち蛙が泳ぐためにあるのです」



そうだ!

そのとおり!



むし なん
「虫は何のためにあるのでしょうか。」

わたし かえる た
私たち 蛙が食べるためにあるのです」



ふうん…

そうだ、そうだ!

そのとおりだ!



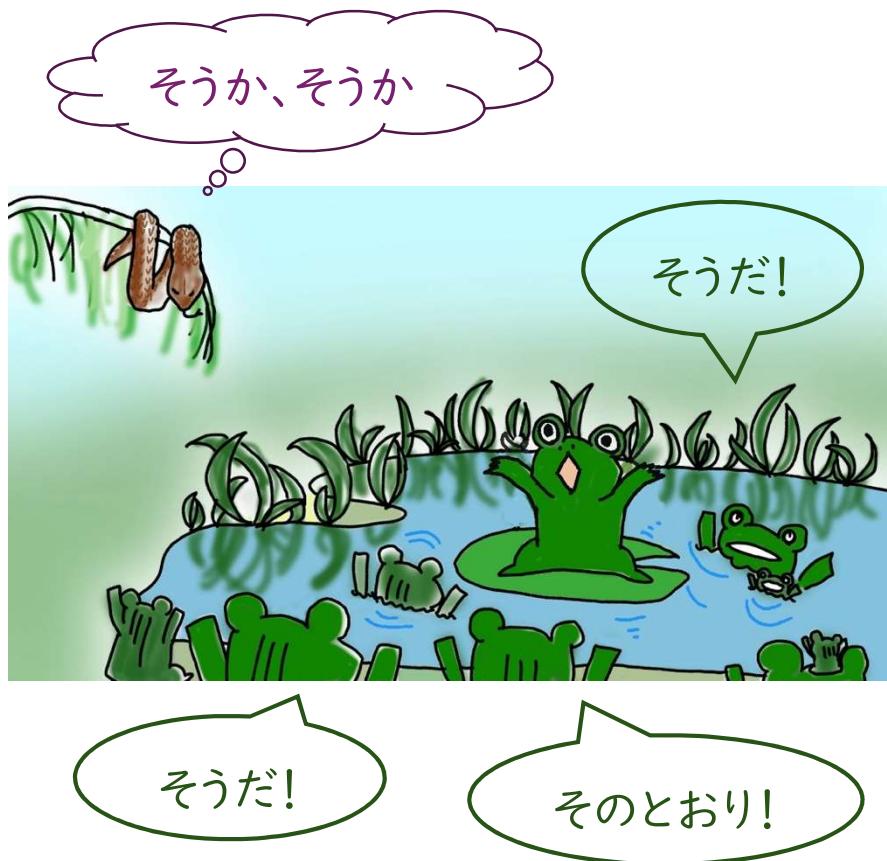
「^{つち}^{なん}土は何のためにあるのでしょうか。
^{つち}^{くさ}^き^い土は、草や木が生きるためにあるので
す。では、^{くさ}^き^{なん}草や木は何のためにあるの
でしょうか。^{かえる}^ひ^{つく}蛙に日かけを作るため
にあるのです。ですからこの大地は、
^{わたし}^{かえる}私たち蛙のためにあるのではないで
しょうか」





「それでは、空はなんのためにあるので
しょうか。空は、太陽が通るためにあ
るので。太陽は何のためにあるので
しょうか。蛙の背中をかわかすため
にあるのです。ですから、空にあるも
のは全部蛙のためにあるのです」

「みんな聞いてください。水も、草
や木も、虫も土も太陽も、すべて
わたしたち蛙のためにあるのです」



わたし
「私たちのために
この世界を作った
神様に、心から
感謝します。神よ、
あなたに祝福を！」

かえる そら みあ め まわ
蛙は空を見上げて、目をぐるりと回
しました。それからまた、口を大きく
開けて言いました。
「神にしゅくふく・・・」



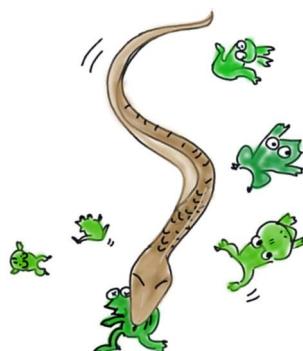
かえる ことば い お
蛙 がその言葉を言い終わらないうち
に、蛇の頭がぐんと蛙に近づきました。
かえる ちか
そして、この蛙は、あっという間
に蛇に食べられてしまいました。

「からら！たいへんだ！」

「ころろ！たいへんだ！」

「たいへんだ！からら、ころろ！」

かえる おおさわ
蛙たちが大騒ぎをしているうちに、
へび くさ なか かく
蛇は草むらの中へ隠れてしましました。



からら、ころろ。からら、ころろ。

いけ かえる
池の蛙たちは、まだ騒いでいまし
た。こんなにうるさいのは、この池が
はじ
てきてから初めてのことでした。

さわ なか な はな わか
この騒ぎの中、泣きながら話す若い
かえる こえ き
蛙の声が聞こえてきました。



みず くさ き むし つち そら
「水も草も木も、虫も土も、空も

たいよう かえる
太陽も、みんな 蛙 のためにあります。

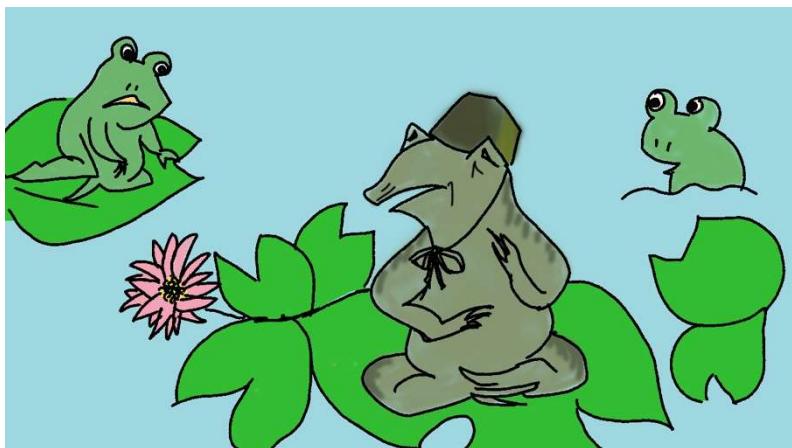
へび へび わたし
では、蛇はどうですか。蛇も 私たちのためにあるのですか」



いっべき としお かえる
「そうだ」と、一匹の年老いた蛙が

い 言いました。

「もし蛇が蛙を食べなかつたら、蛙
は必ず増えるだろう。蛙が増えれば、池が、この世界が狭くなる。だから蛇は蛙を食べるのじゃ。食べられた蛙のおかげで、残った蛙は幸せに暮らすことができるのじゃ」



「これは、^{ほんとう}本当のことじゃ。蛇も蛙の
ためにあるのじゃ。世界にあるものは
^{ぜんぶ}^{かえる}全部、わしら蛙のためにあるのじゃ。
^{かみさま}^{かえる}神様、あなたはすばらしい！」



これが、^{わたし}^き^{とし お}^{かえる}私が聞いた年老いた蛙の
^{こた}答えです。



あくたがわりゆうのすけ
芥川龍之介 (1892~1927年)

日本を代表する作家。古典を題材にした
作品や子ども向けの作品をたくさん書きま
した。人間の心理や感情を巧みに描き出し
た短編が多いです。35歳のとき、将来に対
する漠然とした不安を抱え、自殺してしま
います。

『蜘蛛の糸』『鼻』『魔術』『杜子春』
『羅生門』『トロッコ』が、多読用に簡約さ
れています。

【イラスト】

- ・邊見真名
(P1、P2、P3 下、P4 下、P5 下、P7、P10、P14)
- ・邊見香苗 (P8、P9、P11、P12、P13)
- ・イラスト AC <https://www.ac-illust.com/> (P4 上)

【写真】

- ・写真 AC <https://www.photo-ac.com/>
(表紙、 P3 上、 P5 上、 P6 上)

かえる
蛙

発行年月日 2024 年 5 月 10 日

原作 あくたがわりゅうのすけ
芥川 龍之介

簡約 へんみ かなえ
邊見香苗

挿絵 へんみ まな
邊見真名 へんみ かなえ
邊見香苗

監修 NPO 多言語多読



TADOKU
Supporters

NPO多言語多読
tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>